

平成19年度 三島信用金庫の取り組み方針について

当金庫は、平成18年4月から4年間にわたり、地域密着融資推進計画を策定し、事業再生・中小企業版の円滑化、経営力の強化、地域利用者の利便性向上等をとおして地域密着型金融を推進してまいりました。

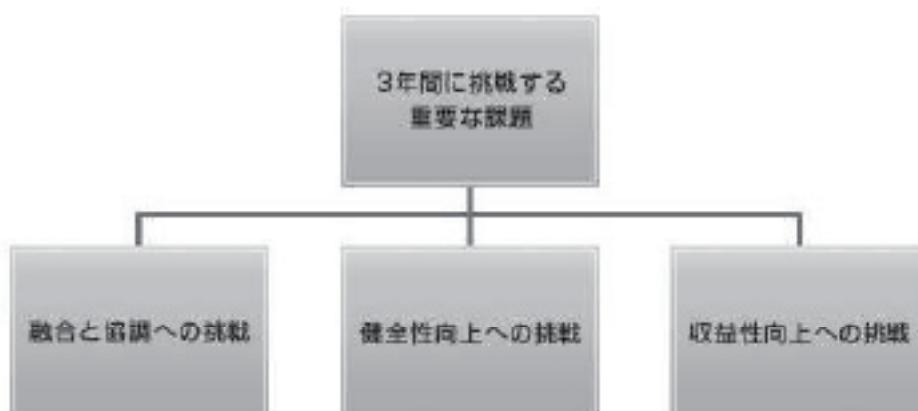
平成19年度より地域密着型金融の推進が、過去4年間の「緊急時対応」として始まったアクションプログラムといつも定期的な評価から恒久的な評価の中での取り組みとなつたことから、当金庫では中期経営計画(平成18年度～20年度)の平成19年度業務計画の中へ以下の項目に沿った具体的な取り組みを盛り込みました。

- ・「ライフサイクルに応じた取引先企業の支経強化」
 - ・「事業復活を見据める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」
 - ・「地域の特徴を活用した持続可能な地域密着への貢献」
- 今後も、「地域のホームドクター」として地域に密着した金融機関をめざしてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

中期経営計画の概要について

当金庫では、田原支店信託金庫との合併を経えた平成18年4月に平成20年3月までの3年間の中期経営計画を策定しております。

合併により伊豆地区金庫に広がった新エリアでの「新たな成長への挑戦」を図るため、スローガンを「新しい風を吹こう」、めざす姿は目標され、信頼され、あたたかく「さんしん」と定めました。



地域密着金融の具体的な取り組みについて

平成19年度業務計画の中へ盛り込んだ具体的な取り組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支経強化

- ・ 地域・人脈を生かしたマッチング機能の強化
- ・ 事業結果及びM&Aについての相談相手を行う
- ・ 地、地外の中小企業支援を活用した創業・新事業実現
- ・ 中小企業再生支援協議会・登録回取機制との連携による企業再生を実施
- ・ 再生ファンド、DDO、DEの活用した企業再生

2. 事業復活を見据める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ・ 中小企業に適した資金供給方法の徹底
(シングルローンの活用、コペナンクの活用、ABLの検討)
- ・ 自治体や地域再生プロジェクトとの連携

3. 地域の情報系を活用した資源可視化地図教育への貢献

- ・ 地域社会の青少年に対する企画教育の推進
- ・ 地域説明会、学び会等の地域活性化への参画
- ・ 公的団体、外部団体等との連携と専門化連携を活用した総合相談機能の強化

活動事例



4. 具体的な教科目標

項目	教科目標(平成19年版)
外部団体との連携	年間 4回
中小企業診断士実務認定実施実績件数	年間 24件
取引先向けセミナー開催目標	年間 3回
職員向けセミナー開催目標	年間 8回
営業店舗店舗等回数	年間 2回
再生支援取り組み件数	年間 1件